

第133回 日本歯科保存学会 2010年度秋季学術大会



2010年 10/28^木 29^金

■学術大会会場

「長良川国際会議場」

岐阜市長良福光 2695-2

TEL. 058-296-1200

大会Web <http://www.kokuhoken.jp/jscd133>

■大会長 吉田 隆一 (朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯内療法学教授)

■準備委員長 堀田 正人 (朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野歯冠修復学教授)

■共催 日本学術会議 / 大韓歯科保存学会

■後援 (社)岐阜県歯科医師会 / (社)岐阜市歯科医師会 / (社)大垣歯科医師会

●特別講演Ⅰ

『Direct Pulp Capping : ~Past, Present, and Future~』

Takashi Komabayashi DDS MDS PhD (Assistant Professor, Texas A&M Health Science Center, Baylor College of Dentistry)

●特別講演Ⅱ

『生命を探る新たな視点バイオメカニクス』

松本 健郎 (名古屋工業大学機械工学科(おもひ領域)教授)

●シンポジウムⅠ

『Enamel Proteins の歯科保存領域における応用を考える』

コーディネーター

中村 幸生 (明海大学歯学部機能保存回復学講座 歯内療学分野教授)

基調講演: 大井田 新一郎 (鶴見大学歯学部生化学講座教授)

講演 1: 和泉 雄一 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野教授)

講演 2: 濱本 宜興 (山形大学医学部附属病院歯科口腔・形成外科病院教授)

講演 3: 中村 幸生 (明海大学歯学部機能保存回復学講座 歯内療学分野教授)

●シンポジウムⅡ

『機能性修復材料開発戦略のベクトルを探る』

コーディネーター

斎藤 隆史 (北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系齶制御治療学教授)

講演 1: 吉田 靖弘 (岡山大学大学院医歯学総合研究科生体材料科学分野准教授)

講演 2: 西谷 佳浩 (岡山大学大学院医歯学総合研究科歯科保存修復学分野准教授)

講演 3: 伊藤 修一 (北海道医療大学歯学部口腔機能修復再建学系う蝕制御治療学講座講師)

講演 4: 小竹 宏朋 (朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野 歯冠修復学助教)

講演 5: 鈴木 雅也 (日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第2講座講師)

●日本学術会議・日本歯科保存学会共催シンポジウム(公開シンポジウム・無料)

『最先端の歯科バイオマテリアル』

主催者

渡邊 誠 (日本学術会議会員)

吉田 隆一 (日本歯科保存学会2010年度秋季学術大会長)

講演 1: 岡崎 正之 (国立大学法人広島大学大学院教授医歯薬学総合研究科)

講演 2: 今里 聡 (大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座(歯科保存学教室)助教授)

講演 3: 興地 隆史 (新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻口腔健康科学講座う蝕学分野教授)

●日韓共催招待講演

●外国人招聘者を囲むセミナー

●会員研究発表

●日韓共催シンポジウム

●臨床セッション

●企業展示

■事務局

第133回日本歯科保存学会2010年度秋季学術大会 運営事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 (財)口腔保健協会コンベンション事業部内 TEL.03-3947-8761 FAX.03-3947-8873

E-mail : jscd133@kokuhoken.or.jp

